

2018年10月26日

【プレスリリース】
報道関係 各位



～栃木市宮町の伝統野菜～ 「宮ねぎ」収穫が始まります

JAしもつけ管内の栃木市宮町で栽培する、とちぎ地域ブランド農産物「宮ねぎ」の収穫が11月中旬から始まります。宮ねぎは、江戸時代からお歳暮用に送る風習があり、市場にはあまり流通しない貴重なネギです。

12月中旬には、JAしもつけ栃木ネギ部会が栃木市大宮町の栃木地区営農経済センター野菜集荷所で2018年産宮ねぎの出荷が始まります。

本件の告知にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

生産者の取材を希望される場合は、当JAから取材先農家を紹介します。

■ 宮ねぎとは…

栃木市宮町を中心に栽培され、「とちぎ地域ブランド」の認証も受けている伝統野菜。形は、軟白部が太くずんぐりとしたダルマ型。糖度が高く、通常のネギが7程度に対し、「宮ねぎ」は9.3もあるのが特徴です。

■ JAしもつけ栃木ネギ部会について

部会員数：6人

栽培面積：101アール

収穫時期：11月中旬～12月上旬

出荷数量：約9,500kg

■ 宮ねぎ研究会

宮ねぎを地域の宝にしようと、2012年に生産者や行政、JAしもつけ栃木ネギ部会が連携して設立。研究会では、栃木農業高校の生徒と「宮ねぎ」を栽培し、形質の確立と今後の管理法を検討。幅広い活用を目指した新たな調理学を考え、PRも展開しています。



▲宮ねぎを栽培する生産者

【宮ねぎに関するお問い合わせ】

JAしもつけ 栃木地区営農経済センター
営農2課 担当：鈴木
TEL：0282-27-6512

【リリース発信元】

JAしもつけ 企画総務部 総務課
広報担当：布藤
TEL：0282-24-1180 FAX:0282-24-7882
E-Mail:s-soumu@ja-shimotsuke.or.jp

